

中期標準化戦略（概要と目的）		専門委員会・AG名	BSG専門委員会	1 / 4
企画戦略委員	山田 徹（NEC）	登録委員数	5	
正副委員長 リーダー・サブ	委員長：荒木 則幸（NTT） / 副委員長：小林 真弓（富士通）			
活動の目的・意義	総務省より2020年5月に公表された「海外展開行動計画2020」では、「新興国を中心とした世界の膨大なインフラ需要への対応」、「SDGs等世界規模での社会課題解決への取組み」の重要性が謳われており、日本企業が有する技術の海外展開を推進することを重要な政策課題としている。その具体的な活動の1つとして「デジタル海外展開プラットフォーム」が設置され、官民一体となり、日本のデジタル技術を活用した海外展開の挑戦を進めている。 また、標準化の観点では、世界的なトレンドとして標準をビジネスにつなげていくため、従来の性能・機能・方式の標準でなく、社会課題を解決するシステム・サービス・ソリューション丸ごとの標準が求められている状況にあり、日本企業がグローバルビジネスを展開する上で、これを踏まえた戦略が必要である。 このような認識の基に、当委員会は主にアジア新興国のニーズに対応するソリューション利用標準を策定し、合わせてその推進に必要な連携構築や、将来のビジネス展開につながるプロモーションをも含めた活動を持続的に推進する。			
活動する上での課題	新規プロジェクトの創出 / 国外パートナー・人脈の維持、開拓			
関連のSDGsゴール	  			
標準化方針	[アップストリーム活動] ・ASTAP文書（APT Report）として登録された「ICTソリューションハンドブック」を、今後も途上国の要望を盛り込みながら改訂提案を継続し、利用標準としてのハンドブックの完成度・有用性を高めることに貢献していく。 ・アジア各国での実証実験結果をICT分野別に体系化し、実施ノウハウを共有化する導入ガイドラインを策定し、各国のICTソリューション導入を支援する。 [TTCドキュメント制定] ・上記「ICTソリューションハンドブック」はTTC技術レポート（TR）として文書化し、新興国ビジネス開拓に向けた利用標準として活用する。			
国内外 標準化団体動向	世界電気通信標準化会議（WTSA-12）において、Resolution 44 “Bridging the standardization gap between developing and developed countries” の改訂が議論され、ITU-T各SGに対して途上国が置かれた特有な状況に配慮して標準化を適切に進めるよう指示することが新たに盛り込まれた。WTSA-16（2016年10月）でも本決議の継続が決定された。これは今後標準策定にあたって途上国での利用を考慮した視点や切り口が求められていることを意味している。			
用語 1: ASTAP: Asia-Pacific Telecommunity Standardization Program Forum 2: EG BSG: Expert Group on Bridging the Standardization Gap 3: SHAREミーティング: “Success & Happiness by Activating Regional Economy” を合言葉にしたアジア各国（インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム）の通信主管庁・大学関係者等との連絡会組織。各国にて農業・水産業・教育・医療・環境等に関するICTソリューション導入パイロットプロジェクト等を実施				

図解 (BSG専門委員会が対象とする標準化領域)



SHARE solution model through Broadband Network

SHARE
Success & Happiness by Activating Regional Economy

Local Community

Sensor Network

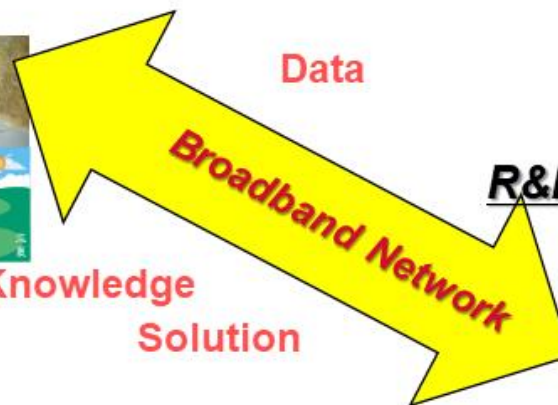


Usability
-Simple
-enjoyable
-fancied by children

Knowledge
Solution

Language Grid

Data



KnowledgeCenter
University

Experts for
- Health
- Agriculture
- Education
- Environment



R&D center



重点取り組みと成果	① 日本のICT技術の新興国普及を目指すため、ASTAP EG BSGに参画し、「ICTソリューションハンドブック」のフォロー、改定を継続 改定内容はTTC技術レポートに反映 ⇒ ASTAP-33にて事例追加提案、APTレポートとして発行承認されAPTWEBサイトに掲載済／TR改定は年度末までに完了予定 ② 過去のパイロットプロジェクトサイトでの異業種間データを共有するプラットフォームをマレーシアと連携して維持管理 異業種間データを組合せた新産業創生に向け、新興国の若手研究者によるコンペ（アイデアソン）を開催 ⇒ プラットフォーム管理は継続中／アイデアソンはタイ開催を計画していたがコロナ禍で開催方法を見極め ③ 過去のパイロットプロジェクトも含め安定的に正確な現地データを取得するため、フィリピン、インドネシア等と連携して、持続可能なIoTシステムを検討継続 ⇒ 検討継続中。パランカラヤ大学（インドネシア）とリモート会議実施 ④ 産学官連携プロジェクトを利用して、日本のICT技術の新興国普及のためのビジネスモデル形成およびステークスホルダー育成の推進を継続 ⇒ タイと日本の農業に関するICT活用パイロットサイトをつないだ意見交換実施を検討中 ⑤ アジアで共通的に取り組むべき社会課題の解決に向けた新たなICTソリューションの検討と推進 ⇒ マレーシアとAPTプロジェクトを推進中
-----------	---

関連する専門委員会とその内容	新規プロジェクトの内容により個別に相談する。
----------------	------------------------

主な活動項目	概況指標	2021年度目標（当初計画時）	2021年度実施状況	記事
①アップストリーム 他団体との連携	寄書数	2件 ASTAP EG BSG（2021年6月予定） ・ICTソリューションハンドブック改定 ・その他	1件 ASTAP-33 EG BSG（2021年6月、バーチャル会合） ・ICTソリューションハンドブック改定 ⇒ “Handbook to Introduce ICT Solutions for the Community in Rural Areas” APT/ASTAP/REPT-13(Rev.4)発行	
	外部会合への参加・連携状況	・ASTAP： 1回（2021年6月予定） ・SHAREミーティング： 1回 ・他国標準化団体との合同ワークショップ（マレーシアMTSFB、タイNBTC等） ・アイデアソン開催	・ASTAP-33： 2021年6月、バーチャル会合 ・SHAREミーティング： 2021/12/10 バーチャル会合 ・他国標準化団体との合同ワークショップは開催見合せ ・アイデアソン開催は延期	F2F会合については コロナ禍の影響あり
②ドキュメント作成 国内標準/仕様書/レポート	JJ標準	0件	0件	
	TS/TR/SR	0件 / 1件 / 0件 - TR: ICTソリューションハンドブック改定	0件 / 1件 / 0件 - TR: ICTソリューションハンドブック改定予定	
③ダウンストリーム	数	0件	0件	
④プロモーション 普及推進	セミナー	1回 TTCセミナー	3回 ・2021/3/17「APTでの取組み～COVID-19禍の中で～」 ・2021/11/22「Healthcare and IoT Solutions during the time of COVID-19」 ・SHAREメンバーによる活動紹介を計画中	
	記事投稿、講演会	・TTCレポート記事： イベント毎に報告	・TTCレポート記事： 4件	

中期標準化戦略（2022年度重点取り組みと活動予定）		専門委員会・AG名	BSG専門委員会	4 / 4
新テーマ及び 重点取り組み	① 日本のICT技術の新興国普及を目指すため、ASTAP EG BSGに参画し、「ICTソリューションハンドブック」のフォロー・改定を継続 改定内容はTTC技術レポートに反映 ② 過去のパイロットプロジェクトサイトでの異業種間データを共有するプラットフォームをマレーシアと連携して維持管理 異業種間データを組合せた新産業創生に向け、新興国の若手研究者によるコンペ（アイデアソン）を開催 ③ 過去のパイロットプロジェクトも含め安定的に正確な現地データを取得するため、フィリピン、インドネシア等と連携して、持続可能なIoTシステムを検討継続 ④ 産学官連携プロジェクトを利用して、日本のICT技術の新興国普及のためのビジネスモデル形成およびステークスホルダー育成の推進を継続 ⑤ アジアで共通的に取り組むべき社会課題の解決に向けた新たなICTソリューションの検討と推進			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	新規プロジェクトの内容により、個別に相談する。			
主な活動項目	概況指標	2022年度目標（当初計画時）	2022年度実施状況	記事
①アップストリーム 他団体との連携	寄書数	1件 ・ASTAP EG BSG（2022年4月予定） - ICTソリューションハンドブック改定提案（マレーシアのケース追加）		
	外部会合への参加・連携状況	・ASTAP： 1回（2022年4月予定） ・SHAREミーティング： 1回 ・他国標準化団体との合同ワークショップ（マレーシアMTSFB、タイNBTC等） ・アイデアソン開催		
②ドキュメント作成 国内標準/ 仕様書/レポート	JJ標準	0件		
	TS/TR/SR	0件 / 1件 / 0件 - TR: ICTソリューションハンドブック改定（マレーシアでのケース追加、状況により延期）		
③ダウンストリーム	数	0件		
④プロモーション 普及推進	セミナー	・TTCセミナー 2回		
	記事投稿、講演会	・TTCレポート記事： イベント毎に報告		